

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

でんとうてき

ぎょうじ

げいのう

伝統的な行事と芸能

こうやまいちのとんどまつり

高山市のトンド祭り

新見市

高梁市

総早倉矢井浅里笠
社島敷掛原口庄岡
市町市町市市町市



かん けい ば しょ
関係のある場所

—



ぎょうじ

この行事について

こうやまいち まつ がつ にち しょうがつかぎ なわ かき そ いえいえ も よ
「高山市のトンド祭り」は、1月15日に、正月飾り・しめ縄・書初めのなどを、家々から持ち寄
つ あ も まつ はじ みずのかつなり ふくやまはんしゅ としき じゅうみん はんしゅ むびょう
り積み上げて燃やすお祭りです。始まりは、水野勝成が福山藩主になった時、住民が藩主の無病
そくさい いの げんろく ねん ねん まつ おこな はんしゅ かんげき よろこ
息災を祈って、元禄5年(1692年)にトンド祭りを行い、そのことに藩主が感激し喜んだこ
とに始まると言われています。

まつ がつ にち ぜん じ じゅんび ぜん じ しゅつぱつ やく にん
トンド祭りの1月15日は、午前8時から準備にかかり、午前10時に出発します。約40人
がトンドを担ぎ、トンドを結んだ縄を子ども達が引っ張って行きます。担ぎ手は「ワッショイ」
「ワッショイ」か こえ しちゆう ね ある ごと じ や うつ おとな こ
の掛け声で市中を練り歩きます。午後4時からトンド焼きに移り、大人や子ども
たなかざ あおたけ はさ もち も よ も ひが つ かきぞ しょ や
たちが棚飾りや、青竹に挟んだ餅を持ち寄って燃やしていきます。火が付くと書初めの書を焼
き、その灰が高く上がるほど字が上手になると言われています。また、トンドの火で焼いた餅は
いえ も かえ かぞく
家に持ち帰って、家族みんなでいただきます。